

鞆の浦（とものうら）

福山市ホームページより

福山駅から南へ 14km の瀬戸内海沿岸のほぼ中央に位置する鞆の浦。

古くから潮待ちの港として栄え、万葉集にも詠まれています。

また、日本で最初の国立公園に指定された瀬戸内海を代表する景勝地の 1 つです。

波穏やかな瀬戸の海に仙酔島や弁天島がぽっかりと浮かぶのどかな風景は心洗われます。

江戸時代には北前船の寄港地としても栄え、朝鮮通信使も幕府の慶賀などのために度々寄港。福禅寺が迎賓の場所として使われました。

福禅寺本堂隣の「対潮楼」は 1690 年頃に客殿として建てられたもので、賓客の宿舎として使われました。

座敷からは瀬戸内海の絶景が広がり、朝鮮通信使の従事官の李邦彦が「日東第一形勝」（対馬より東で一番美しい景勝地という意）と賞賛しました。

鞆の浦は国内外との交易で栄えた港で歴史に名高い旧跡や遺構も多く残されています。